

大規模なサイバー攻撃

2010年 7月 イランの核施設へ

11年 4月 ソニー米

9月

サイバー攻撃の脅威が増大

(シマンテックの2012年調査)

防御できたサイバー攻撃 5

ウイルス付きのメール 239

ウイルスの種類 4

新しく見つかったソフトの欠陥 49

グラフィックス 吐田エマ



サイバー攻撃 組織化・大

政府や企業のコンピュータ荷をかけて機能不全に陥れた報を盗み出したりする行為。多かったが、最近では金銭をよるものや、軍が主導してう「サイバー戦争」など、大れている。

標的型攻撃の場合、警察庁府機関や日本企業に計1009件ことをつかんだ。発覚しなるとみられる。政府は情報七会議を設置し、官民連携で戦練を進めているが、「標的型(内閣官房幹部)と危機感を

黄砂でアレルギー悪化?

ナゾ 謎 かがく

直径は1000万分の1以前後。普通のマスクで十分に防げそうだが、必ずしもうまくいかない。花粉が割れて細かく砕け散るからだ。

花粉は殻のようなもの。酸塩が湿り気を帯びた状態で、弱アルカリ性の花粉に付くと酸によって表面が傷つく。そこから水分がどんどん吸収されて短時間で壊れてしまう。なかでも硫酸カルシウム

などのカルシウム塩の破壊力が大きいことが、スギ花粉を使った実験でわかった。カルシウム成分を持つ代表的な粒子が黄砂だ。表面で汚染物質と反応すれば硫酸カルシウムなどができる。実際に黄砂の飛来時に降った雨の成分を測定すると、

るので、アレルギー物質は飛びにくい。しかし翌日晴れあがり、風があると壊れた花粉が乾燥して一気に飛び散る恐れがある。

花粉破裂、原因物質が拡散

春の空は微小粒子状物質(PM2.5)などの大気汚染物質に黄砂、花粉などが混ざりあって漂う場合も多い。これらが互いに影響し合うとアレルギーの原因物質が出やすくなり、花粉症の悪化につながるらしいことが分かってきた。

で覆われているが、何らかのきっかけで水分を吸い込むと破裂する。その際に表面付近のアレルギー物質が飛び散り、続いて内部のアレルギー物質も外に出る。破片はPM2.5より小さいものも多い。



何が破裂のきっかけになるのか。埼玉大学の王青躍准教授によると、大気汚染物質の硫酸塩や硝

アレルギー物質の濃度が高かった。ヒノキ花粉の場合も、スギと同じような条件で花粉症を悪化させる可能性が高い。霧雨など弱い雨と黄砂の組み合わせが最悪だという。土砂降りの日には花粉も黄砂も大部分が洗い流され

小林製薬の通信販売

詳しくは エディケア 実感 検索 クリック

アルギニン + ピクノジェノール®
米国特許! 日本上陸!



【内容量】180粒(約15~30日分) (600mg×3粒)×60袋(タブレット)
※特許番号:US6,565,851 (プロアントシアニン(高糖成分)とL-アルギニンまたはその塩(一酸化窒素)の同時配合に関する特許)

『エディケア』好評発売中!!

宿かた身履かまります
奈良県・51歳・A・U様
希望の灯火を実感しています。
沖縄県・66歳・K・I様
※個人の感想であり、本品を摂取した後の体感には個人差があります。